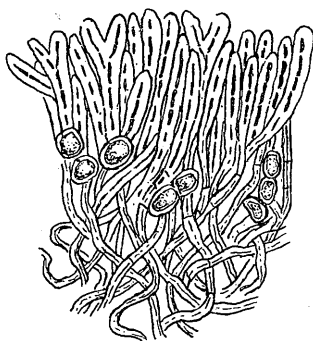
(上) *Roccella fucoides* (DICKS.) WAIN. (1/2)

無子器ニシテ粉芽ヲ着ク

(歐洲産標本ヨリ苔軒撮影)

(下) *Ochrolechia tartarea* (L.) MASS. (1/2)

(歐洲産標本ヨリ苔軒撮影)

*Roccella fucoides* (DICKS.) WAIN. ノ皮層横断面

ノ一部鏡檢圖

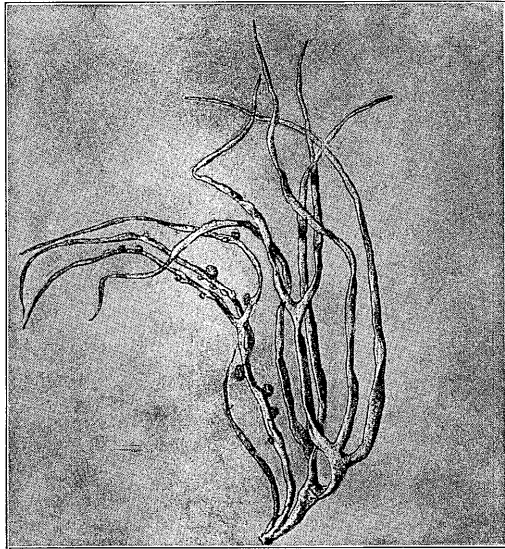
(A. L. SMITH 鑑ニ據ル)

○ 蕾 軒 獨 語 (其九)

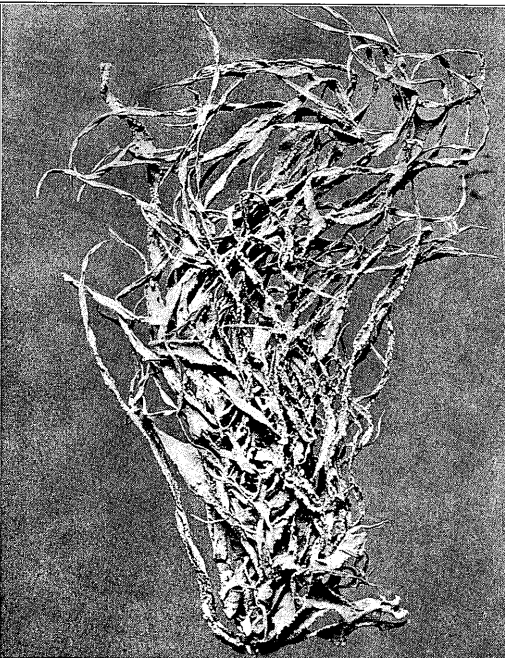
蕾 軒 朝 比 奈 泰 彦

○「リトマス」苔 有用植物トシテノ地衣ヲ考フルトキハ誰デモ藥用トシテノ「エーラン」苔ト色素原料トシ
 テノ「リトマス」苔トニ氣ガ付クデアラウ、歐洲デハ昔「リトマス」苔カラ製造シタ「オルセイユ」Orseille

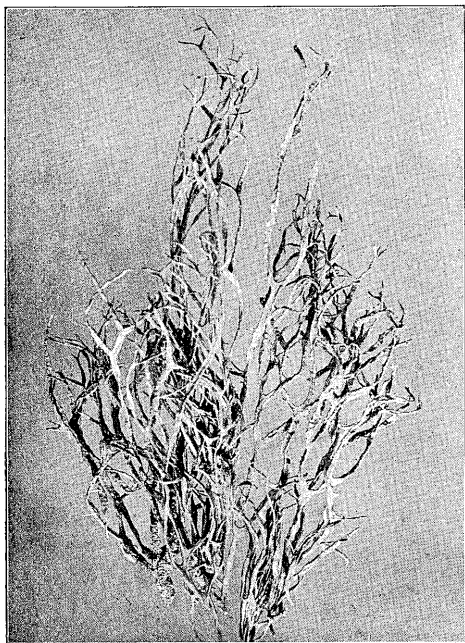
(アーキル) 又ハ「ベルシオ」Persio ト名付クル色素デ毛ヤ絹ヲ紅ニ染メテ居タ、此色素ハ色ハ鮮カデア
日光ニ弱イノガ缺點デ其製造業ハ近世ノ「アニリン」色素工業ノ勃興ト共ニ一タマリモナク壓倒サレ今デハ僅
ニ化學用ニ供スル「リトマス」色素ノ製造ニ餘喘ヲ保テ居ルニ過ギナイ、此等ノ色素ノ原料トナル地衣ハ一種
デハナイノデ大低下ノ數種ヲ舉グルコトガデキル、即チ *Rocella Montagnei* Bér., *R. fuciformis* DC., *R.*
fucoides (Dicks.) Wain., *R. tinctoria* DC., *Ochrolechia tartarea* (L.) Mass. ナドデ是等ノ地衣ハ、初メカラ
色素ヲ含有シテ居ルノデハナク其成分デアル諸種ノ地衣酸ヲ石灰或ハ灰汁デ煮出シ之ニ腐敗尿(或ハ「アムモ



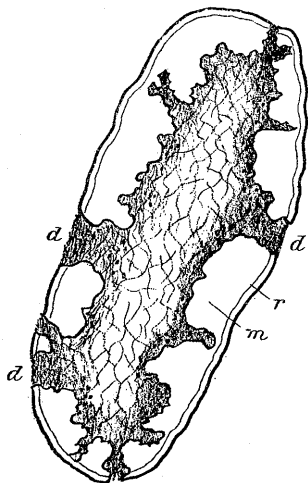
Rocella fuciformis DC. 有子器 (少シク細小)
(REINKE 原圖 ENGLER: Pflanzenfamilien ヨリ轉寫)



Rocella Montagnei Bér. (殆ンド自然大)
此標本ハ無子器ニシテ葉體上ノ白點ハ粉芽ナリ (ジャワ標本ヨリ電氣攝影)



Ramalina scopulorum (RETZ.) NYL. (1/3 縮小)
愛知縣知多郡師崎町海岸岩石ニ着生セルモノヲ菊池明次氏採集 (雷軒撮影)



Ramalina scopulorum (RETZ.) NYL. ノ葉體ノ横斷
r ハ皮層 m ハ纖維束 d ハ呼吸孔
(T. BRANDT 氏ニ據ル)

ニア) ヲ加ヘ空氣ニ暴露シ酸化作用ト共ニ一種ノ醗酵ヲ營マシメテ出來ルモノデアル、「リトマス」色素ノ方ハ其生成ニ長時間ヲ要シ單ニ紅又ハ紫デナク酸ニ會テ赤、「アルカリ」ニ會テ藍色ト云フ風ニ變化スルノデ化學上之ヲ標示藥トシテ使用スル、*Rocella* 屬ノ地衣ハ多クハ海岸ノ岩石ニ着生スルモノデ吾國デハ未ダ見付カラナイ、吾國デモ時々「リトマス」苔デアルト言ハル、モノヲ見ルト大抵 *Ramalina scopulorum* (RETZ.) NYL. (ひじきごけ^{博士}、いはからたちごけ^{野雷}) ト云フモノデ吾國各地ノ海岸岩上ニ附着シ分布ハ可ナリ廣イ、ソシテ大ニ枝ヲ分チ高サ一「デシ」ヲ超ユル位ノモノモアレバ又萎縮シテ二「センチ」ニ達セザルモノモアル、

小生ノ名ヲ以テ書カレタル誤多キ茸ノ記事ニ就テ

Ramalina ト Rocella トノ根本的ノ相違ヲ決スルニハ葉體ノ横斷面ヲ顯微鏡デ見ルノガヨイ即チ Ramalina ニアリテハ最外部ニ擬柔組織ノ皮膚ガアリ次ニ葉體ノ長軸ノ方向ニ伸ビタ纖維狀菌絲束 (Strengthening Hyphae, mechanische Gewebe) ガアツテ最内部ノ疎ナル髓層ヲ包ンデ居ル、Rocella ノ方ハ其皮層ハ Hue 氏ノ所謂 fastigiate cortex ニ屬シ葉體ノ外側ニ近ク通走スル菌絲ガ其分枝ヲ外方ニ轉ジ束狀ヲナシテ居ル、其他横斷面ニ漂白粉溶液ヲ注グニ Ramalina ハ何モ反應ガナイケレドモ Rocella ノ方ハ赤色ヲ呈スル、Ochrolechia tartarea ハ一名 Lecanora tartarea トモ云ハレ吾國ノ山地ニモ稀ニ産スル固着地衣デ其葉體ハ亦漂白粉溶液ニヨリ赤色ヲ呈スル、要スルニ「リトマス」色素ノ原料ハ漂白粉デ赤色ヲ呈スル地衣酸(例ヘバ「レカノール」酸)デアルノデ吾國ニハ「レカノール」酸ヲ澤山含有シテ居ルうめのきごけ、なみがたうめのきごけガアル以上何モ Rocella ノ無キヲ憂ヘルニ及バンガ若シモ誰カガ何處カデ見付ケ得タトキハ分布上大變興味アルコトニナル

○小生ノ名ヲ以テ書カレタル誤多キ茸ノ記事ニ就テ

理學博士 川 村 清 一

本年九月印刷セル東京大正通信社發行『國際畫報』十月號中ニ二頁大縦一尺二寸五分 横一尺六寸ニ三彩版刷ノ茸ノ美シイ澤山ナ圖ガ載セラレテキルノハ一日其畫報ノ記者ヨリ乞ハル、儘ニ外國ノ菌譜ヤ小生ノ寫生圖等ヲ貸與シテ載セルニ至ツタモノデアルガ其中ノはらたけ(毒)、ひとよたけ(毒)ト記シアルハ共ニ記者ノ誤リニヨリ食毒ヲ顛倒シタモノデアルカラ此圖ヲ參考セラル、方ニハ御注意ヲ願ヒタイ、更ニ別ニ同畫報誌上ニ小生ノ名ヲ以テ書カレテキル「茸に就いて」ト題スル記事ガアルノニ關シテハ右ハ小生ガ寄稿ハ勿論、談話モシナカッタモノデ不徳義ナル記者ガ小生ノ名ヲ借用ニ及ンデ誰レカ他ノ人カラ聞イテ書イタ全部ニ互ツテ誤謬ノ甚シイモノデ小生